

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590029001	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (L1~L6) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako,		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>教科書は「Paris Bordeaux (パリ ボルドー フランスの世界遺産と食文化を巡る旅)」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、パリやボルドーの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「?である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>パリへフランス語を学びに来た日本人大学生美香が、パリに滞り後ボルドーを訪れ、フランス人やイギリス人旅行者ポールと出会い、フランスの文化、特に料理やワインに関心を持っていくというストーリーです。自分が美香やポールになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習についてはその都度説明します		
キーワード/Key word	フランス語?		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」 (朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。 皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。 。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何？
第2回	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) パリの世界遺産を知ろう
第3回	「フランス語の歌を歌おう」 1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる 2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「名前は?です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
第5回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「?です」活用テスト 2) 彼、彼女の名前は何? 3) ペアレッスン
第6回	「自己紹介をしよう」(3) 1) 自己紹介をしてみよう 2) 聞き取り・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第7回	「これは何?」(1) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 色や気持ちの形容詞を言ってみよう 3) 男性形と女性形
第8回	「これは何?」(2) 1) 「単語」小テスト 2) フランス語の単数形と複数形 3) ペアレッスン
第9回	「これは何?」(3) 1) 「何」を学ぶ 2) シャドウイングをしてみよう! 3) ペアレッスン
第10回	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住む」を学ぶ 2) 街にあるもの知ろう。 3) 聞き取りをする。
第11回	「どこに住んでるの?」(2) 1) 女性と男性の冠詞を知る 2) 「住む」の動詞活用小テスト 3) 自分の街について話そう
第12回	「どこに住んでるの?」(3) 1) 疑問文を作ってみよう 2) パリの観光地を説明してみる 3) ペアレッスン
第13回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(1) 1) どこから来たの? 2) 冠詞を聞き取る 3) 何語を話せる?
第14回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(2) 1) 「好き」を言ってみる 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第15回	前期の復習
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590029002	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E1~E4_P1・P2_T1・T2) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1?E3_P1・2_T1・T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>教科書は「Paris Bordeaux (パリ ボルドー フランスの世界遺産と食文化を巡る旅)」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、パリやボルドーの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「?である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
授業内容/Class outline/Con	パリへフランス語を学びに来た日本人大学生美香が、パリに滞在後ボルドーを訪れ、フランス人やイギリス人旅行者ポールと出会い、フランスの文化、特に料理やワインに関心を持っていくというストーリーです。自分が美香やポールになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習についてはその都度説明します		
キーワード/Key word	フランス語?		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。 皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。 。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何？
第2回	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) パリの世界遺産を知ろう
第3回	「フランス語の歌を歌おう」 1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる 2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「名前は?です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
第5回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「?です」活用テスト 2) 彼、彼女の名前は? 3) ペアレッシン
第6回	「自己紹介をしよう」(3) 1) 自己紹介をしてみよう 2) 聞き取り・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第7回	「これは何?」(1) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 色や気持ちの形容詞を言ってみよう 3) 男性形と女性形
第8回	「これは何?」(2) 1) 「単語」小テスト 2) フランス語の単数形と複数形 3) ペアレッシン
第9回	「これは何?」(3) 1) 「何」を学ぶ 2) シャドウイングをしてみよう! 3) ペアレッシン
第10回	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住む」を学ぶ 2) 街にあるもの知ろう。 3) 聞き取りをする。
第11回	「どこに住んでるの?」(2) 1) 女性と男性の冠詞を知る 2) 「住む」の動詞活用小テスト 3) 自分の街について話そう
第12回	「どこに住んでるの?」(3) 1) 疑問文を作ってみよう 2) パリの観光地を説明してみる 3) ペアレッシン
第13回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(1) 1) どこから来たの? 2) 冠詞を聞き取る 3) 何語を話せる?
第14回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(2) 1) 「好き」を言ってみる 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第15回	前期の復習
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590029003	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (T3~T10) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐野 友紀 / Sano Yuki,		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐野 友紀 / Sano Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佐野 友紀 / Sano Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>教科書は「Paris Bordeaux (パリ ボルドー フランスの世界遺産と食文化を巡る旅)」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、パリやボルドーの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「?である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>パリへフランス語を学びに来た日本人大学生美香が、パリに滞り後ボルドーを訪れ、フランス人やイギリス人旅行者ポールと出会い、フランスの文化、特に料理やワインに関心を持っていくというストーリーです。自分が美香やポールになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習についてはその都度説明します		
キーワード/Key word	フランス語?		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」 (朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。 皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。 。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何？
第2回	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) パリの世界遺産を知ろう
第3回	「フランス語の歌を歌おう」 1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる 2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「名前は?です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
第5回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「?です」活用テスト 2) 彼、彼女の名前は? 3) ペアレッシン
第6回	「自己紹介をしよう」(3) 1) 自己紹介をしてみよう 2) 聞き取り・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第7回	「これは何?」(1) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 色や気持ちの形容詞を言ってみよう 3) 男性形と女性形
第8回	「これは何?」(2) 1) 「単語」小テスト 2) フランス語の単数形と複数形 3) ペアレッシン
第9回	「これは何?」(3) 1) 「何」を学ぶ 2) シャドウイングをしてみよう! 3) ペアレッシン
第10回	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住む」を学ぶ 2) 街にあるもの知ろう。 3) 聞き取りをする。
第11回	「どこに住んでるの?」(2) 1) 女性と男性の冠詞を知る 2) 「住む」の動詞活用小テスト 3) 自分の街について話そう
第12回	「どこに住んでるの?」(3) 1) 疑問文を作ってみよう 2) パリの観光地を説明してみる 3) ペアレッシン
第13回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(1) 1) どこから来たの? 2) 冠詞を聞き取る 3) 何語を話せる?
第14回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(2) 1) 「好き」を言ってみる 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第15回	前期の復習
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590029004	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (F1~F3_K2・K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐野 友紀 / Sano Yuki,		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐野 友紀 / Sano Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佐野 友紀 / Sano Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>教科書は「Paris Bordeaux (パリ ボルドー フランスの世界遺産と食文化を巡る旅)」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、パリやボルドーの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「?である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>パリへフランス語を学びに来た日本人大学生美香が、パリに滞在後ボルドーを訪れ、フランス人やイギリス人旅行者ポールと出会い、フランスの文化、特に料理やワインに関心を持っていくというストーリーです。自分が美香やポールになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習についてはその都度説明します		
キーワード/Key word	フランス語?		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。 皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。 。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何？
第2回	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) パリの世界遺産を知ろう
第3回	「フランス語の歌を歌おう」 1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる 2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「名前は?です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
第5回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「?です」活用テスト 2) 彼、彼女の名前は? 3) ペアレッション
第6回	「自己紹介をしよう」(3) 1) 自己紹介をしてみよう 2) 聞き取り・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第7回	「これは何?」(1) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 色や気持ちの形容詞を言ってみよう 3) 男性形と女性形
第8回	「これは何?」(2) 1) 「単語」小テスト 2) フランス語の単数形と複数形 3) ペアレッション
第9回	「これは何?」(3) 1) 「何」を学ぶ 2) シャドウイングをしてみよう! 3) ペアレッション
第10回	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住む」を学ぶ 2) 街にあるもの知ろう。 3) 聞き取りをする。
第11回	「どこに住んでるの?」(2) 1) 女性と男性の冠詞を知る 2) 「住む」の動詞活用小テスト 3) 自分の街について話そう
第12回	「どこに住んでるの?」(3) 1) 疑問文を作ってみよう 2) パリの観光地を説明してみる 3) ペアレッション
第13回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(1) 1) どこから来たの? 2) 冠詞を聞き取る 3) 何語を話せる?
第14回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(2) 1) 「好き」を言ってみる 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第15回	前期の復習
第16回	統一試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590029005	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E5 ~ E6_M1 ~ M3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E4?E6_M1?M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>教科書は「Paris Bordeaux (パリ ボルドー フランスの世界遺産と食文化を巡る旅)」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、パリやボルドーの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「?である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
授業内容/Class outline/Con	パリへフランス語を学びに来た日本人大学生美香が、パリに滞在後ボルドーを訪れ、フランス人やイギリス人旅行者ポールと出会い、フランスの文化、特に料理やワインに関心を持っていくというストーリーです。自分が美香やポールになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習についてはその都度説明します		
キーワード/Key word	フランス語?		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。 皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。 。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何？
第2回	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) パリの世界遺産を知ろう
第3回	「フランス語の歌を歌おう」 1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる 2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「名前は?です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
第5回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「?です」活用テスト 2) 彼、彼女の名前は? 3) ペアレッスン
第6回	「自己紹介をしよう」(3) 1) 自己紹介をしてみよう 2) 聞き取り・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第7回	「これは何?」(1) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 色や気持ちの形容詞を言ってみよう 3) 男性形と女性形
第8回	「これは何?」(2) 1) 「単語」小テスト 2) フランス語の単数形と複数形 3) ペアレッスン
第9回	「これは何?」(3) 1) 「何」を学ぶ 2) シャドウイングをしてみよう! 3) ペアレッスン
第10回	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住む」を学ぶ 2) 街にあるもの知ろう。 3) 聞き取りをする。
第11回	「どこに住んでるの?」(2) 1) 女性と男性の冠詞を知る 2) 「住む」の動詞活用小テスト 3) 自分の街について話そう
第12回	「どこに住んでるの?」(3) 1) 疑問文を作ってみよう 2) パリの観光地を説明してみる 3) ペアレッスン
第13回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(1) 1) どこから来たの? 2) 冠詞を聞き取る 3) 何語を話せる?
第14回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(2) 1) 「好き」を言ってみる 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第15回	前期の復習
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590029006	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K1) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	M4?M6_D1・D2_K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>教科書は「Paris Bordeaux (パリ ボルドー フランスの世界遺産と食文化を巡る旅)」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、パリやボルドーの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「?である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
授業内容/Class outline/Con	パリへフランス語を学びに来た日本人大学生美香が、パリに滞り後ボルドーを訪れ、フランス人やイギリス人旅行者ポールと出会い、フランスの文化、特に料理やワインに関心を持っていくというストーリーです。自分が美香やポールになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習についてはその都度説明します		
キーワード/Key word	フランス語?		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。 皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。 。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何？
第2回	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) パリの世界遺産を知ろう
第3回	「フランス語の歌を歌おう」 1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる 2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「名前は?です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
第5回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「?です」活用テスト 2) 彼、彼女の名前は何? 3) ペアレッション
第6回	「自己紹介をしよう」(3) 1) 自己紹介をしてみよう 2) 聞き取り・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第7回	「これは何?」(1) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 色や気持ちの形容詞を言ってみよう 3) 男性形と女性形
第8回	「これは何?」(2) 1) 「単語」小テスト 2) フランス語の単数形と複数形 3) ペアレッション
第9回	「これは何?」(3) 1) 「何」を学ぶ 2) シャドウイングをしてみよう! 3) ペアレッション
第10回	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住む」を学ぶ 2) 街にあるもの知ろう。 3) 聞き取りをする。
第11回	「どこに住んでるの?」(2) 1) 女性と男性の冠詞を知る 2) 「住む」の動詞活用小テスト 3) 自分の街について話そう
第12回	「どこに住んでるの?」(3) 1) 疑問文を作ってみよう 2) パリの観光地を説明してみる 3) ペアレッション
第13回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(1) 1) どこから来たの? 2) 冠詞を聞き取る 3) 何語を話せる?
第14回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(2) 1) 「好き」を言ってみる 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第15回	前期の復習
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590029007	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2), [多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	G1?G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は「Paris Bordeaux (パリ ボルドー フランスの世界遺産と食文化を巡る旅)」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。 また、パリやボルドーの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Goal	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。 (4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。 (2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。 (3) 「?である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。 (4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。		
授業内容/Class outline/Con	パリへフランス語を学びに来た日本人大学生美香が、パリに滞り後ボルドーを訪れ、フランス人やイギリス人旅行者ポールと出会い、フランスの文化、特に料理やワインに関心を持っていくというストーリーです。自分が美香やポールになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習についてはその都度説明します		
キーワード/Key word	フランス語?		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。 または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。 皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。 。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何？
第2回	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) パリの世界遺産を知ろう
第3回	「フランス語の歌を歌おう」 1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる 2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「名前は?です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
第5回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「?です」活用テスト 2) 彼、彼女の名前は何? 3) ペアレッスン
第6回	「自己紹介をしよう」(3) 1) 自己紹介をしてみよう 2) 聞き取り・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第7回	「これは何?」(1) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 色や気持ちの形容詞を言ってみよう 3) 男性形と女性形
第8回	「これは何?」(2) 1) 「単語」小テスト 2) フランス語の単数形と複数形 3) ペアレッスン
第9回	「これは何?」(3) 1) 「何」を学ぶ 2) シャドウイングをしてみよう! 3) ペアレッスン
第10回	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住む」を学ぶ 2) 街にあるもの知ろう。 3) 聞き取りをする。
第11回	「どこに住んでるの?」(2) 1) 女性と男性の冠詞を知る 2) 「住む」の動詞活用小テスト 3) 自分の街について話そう
第12回	「どこに住んでるの?」(3) 1) 疑問文を作ってみよう 2) パリの観光地を説明してみる 3) ペアレッスン
第13回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(1) 1) どこから来たの? 2) 冠詞を聞き取る 3) 何語を話せる?
第14回	「仏検5級の問題を解いてみよう」(2) 1) 「好き」を言ってみる 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
第15回	前期の復習
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590031001	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2), [多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	G1?G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法 (学習指導法) /Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の < パリ ボルドー > の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「カフェ フランセ」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「その人どんな人？」(1) 1) どんな外見? 2) どんな性格? 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「その人どんな人？」(2) 1) 男性、女性の形容詞 2) 私の、彼の所有形容詞を学ぶ 3) インタビューしよう
第3回	「その人どんな人？」(3) 1) 形容詞の単数形、複数形 2) 誰が、どこで、何したの? 3) フランス語を聞き取る
第4回	「これ何？」(1) 1) 家の中の単語を学ぼう 2) 誰がどこにいるの? 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「これ何？」(2) 1) 「ル」「ラ」を学ぶ 2) どこに住んでるか尋ねよう 3) チャットをしよう
第6回	「これ何？」(3) 1) 「?の国へ」「?の国から」 2) 冠詞を短くする 3) 練習問題を解く
第7回	「これ大好き！」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 「好き aimer」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「これ大好き！」(2) 1) 好きなものを書こう 2) 1日の行動の動詞を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「これ大好き」(3) 1) 嫌いを言う 2) 趣味は何? 3) 代名詞で置きかえよう
第10回	「どんな服着てる？」(1) 1) 洋服の単語を覚える 2) 「する、つくる faire」の動詞を覚える 3) 比較してみよう
第11回	「どんな服着てる？」(2) 1) 「私に」「彼女に」を学ぶ 2) どんな服着たい? 3) ペアレッスン
第12回	「どんな服着てる？」(3) 1) 天気を言ってみる 2) フランスの地方の天気を知る 3) クラスメートにアンケートをしてみよう
第13回	「ごはんですよ」(1) 1) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 2) おなかがすいた 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「ごはんですよ」(2) 1) 「欲しいvouloir」の動詞を学ぼう 2) のどがかわいた。 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「スポーツする？」 1) スポーツの単語を覚える 2) 「買う、乗る、取る prendre」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590031002	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (L1~L6) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法 (学習指導法) /Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の <パリ ボルドー>の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パリ ボルドー」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「買い物しよう」(1) 1) いくらですか? 2) 「これは」を覚えよう 3) 「マルシェ」って何?
第2回	「買い物しよう」(2) 1) 食べ物の単語を学ぶ 2) 「持つ」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第3回	「買い物しよう」(3) 1) 否定文にしてみよう 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう
第4回	「週末に何する?」(1) 1) ボルドーへ「aller 行く」 2) フランスの町を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「週末に何する?」(2) 1) 近い未来を学ぶ 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう
第6回	「週末に何する?」(3) 1) 「何が」「何を」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く
第7回	「ホテルを探しています」(1) 1) 「出発する partir」の動詞を知ろう 2) 「私の」「君の」「彼の」「彼女の」を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「ホテルを探しています」(2) 1) 色々な挨拶を言ってみよう 2) 「私達の」「あなた達の」「彼らの」「彼女たちを」を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「ホテルを探しています」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) 道を教え下さい。 3) 方向を知る
第10回	「観光案内所で」(1) 1) 「私の方は」「あなたの方は」強勢形を知る 2) 乗り物の単語を覚えよう 3) 練習問題を解く
第11回	「観光案内所で」(2) 1) 「?したいんですが」を言ってみる 2) どこを観光したい? 3) ペアレッスン
第12回	「観光案内所で」(3) 1) 「?があります」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう
第13回	「何が好き?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) どこから来たの? 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「何が好き」(2) 1) 「好き aimer」の動詞を学ぼう 2) 「私を」を学ぶ 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「何が好き?」 1) 何に興味がある? 2) 「私に」を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590031003	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E1~E3_P1・P2_T1・T2) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1?E3_P1・2_T1・T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使うようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の <パリ ボルドー>の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パリ ボルドー」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego(自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「買い物しよう」(1) 1) いくらですか? 2) 「これは」を覚えよう 3) 「マルシェ」って何?
第2回	「買い物しよう」(2) 1) 食べ物の単語を学ぶ 2) 「持つ」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第3回	「買い物しよう」(3) 1) 否定文にしてみよう 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう
第4回	「週末に何する?」(1) 1) ボルドーへ「aller 行く」 2) フランスの町を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「週末に何する?」(2) 1) 近い未来を学ぶ 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう
第6回	「週末に何する?」(3) 1) 「何が」「何を」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く
第7回	「ホテルを探しています」(1) 1) 「出発する partir」の動詞を知ろう 2) 「私の」「君の」「彼の」「彼女の」を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「ホテルを探しています」(2) 1) 色々な挨拶を言ってみよう 2) 「私達の」「あなた達の」「彼らの」「彼女たちを」を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「ホテルを探しています」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) 道を教え下さい。 3) 方向を知る
第10回	「観光案内所で」(1) 1) 「私の方は」「あなたの方は」強勢形を知る 2) 乗り物の単語を覚えよう 3) 練習問題を解く
第11回	「観光案内所で」(2) 1) 「?したいんですが」を言ってみる 2) どこを観光したい? 3) ペアレッスン
第12回	「観光案内所で」(3) 1) 「?があります」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう
第13回	「何が好き?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) どこから来たの? 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「何が好き」(2) 1) 「好き aimer」の動詞を学ぼう 2) 「私を」を学ぶ 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「何が好き?」 1) 何に興味がある? 2) 「私に」を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590031004	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (T3~T10) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法 (学習指導法) /Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の <パリ ボルドー>の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パリ ボルドー」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「買い物しよう」(1) 1) いくらですか? 2) 「これは」を覚えよう 3) 「マルシェ」って何?
第2回	「買い物しよう」(2) 1) 食べ物の単語を学ぶ 2) 「持つ」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第3回	「買い物しよう」(3) 1) 否定文にしてみよう 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう
第4回	「週末に何する?」(1) 1) ボルドーへ「aller 行く」 2) フランスの町を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「週末に何する?」(2) 1) 近い未来を学ぶ 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう
第6回	「週末に何する?」(3) 1) 「何が」「何を」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く
第7回	「ホテルを探しています」(1) 1) 「出発する partir」の動詞を知ろう 2) 「私の」「君の」「彼の」「彼女の」を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「ホテルを探しています」(2) 1) 色々な挨拶を言ってみよう 2) 「私達の」「あなた達の」「彼らの」「彼女たちを」を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「ホテルを探しています」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) 道を教え下さい。 3) 方向を知る
第10回	「観光案内所で」(1) 1) 「私の方は」「あなたの方は」強勢形を知る 2) 乗り物の単語を覚えよう 3) 練習問題を解く
第11回	「観光案内所で」(2) 1) 「?したいんですが」を言ってみる 2) どこを観光したい? 3) ペアレッスン
第12回	「観光案内所で」(3) 1) 「?があります」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう
第13回	「何が好き?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) どこから来たの? 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「何が好き」(2) 1) 「好き aimer」の動詞を学ぼう 2) 「私を」を学ぶ 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「何が好き?」 1) 何に興味がある? 2) 「私に」を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590031005	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (F1~F3_K2・K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐野 友紀 / Sano Yuki,		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐野 友紀 / Sano Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佐野 友紀 / Sano Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使い、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法 (学習指導法) /Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の <パリ ボルドー>の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パリ ボルドー」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「買い物しよう」(1) 1) いくらですか? 2) 「これは」を覚えよう 3) 「マルシェ」って何?
第2回	「買い物しよう」(2) 1) 食べ物の単語を学ぶ 2) 「持つ」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第3回	「買い物しよう」(3) 1) 否定文にしてみよう 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう
第4回	「週末に何する?」(1) 1) ボルドーへ「aller 行く」 2) フランスの町を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「週末に何する?」(2) 1) 近い未来を学ぶ 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう
第6回	「週末に何する?」(3) 1) 「何が」「何を」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く
第7回	「ホテルを探しています」(1) 1) 「出発する partir」の動詞を知ろう 2) 「私の」「君の」「彼の」「彼女の」を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「ホテルを探しています」(2) 1) 色々な挨拶を言ってみよう 2) 「私達の」「あなた達の」「彼らの」「彼女たちを」を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「ホテルを探しています」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) 道を教え下さい。 3) 方向を知る
第10回	「観光案内所で」(1) 1) 「私の方は」「あなたの方は」強勢形を知る 2) 乗り物の単語を覚えよう 3) 練習問題を解く
第11回	「観光案内所で」(2) 1) 「?したいんですが」を言ってみる 2) どこを観光したい? 3) ペアレッスン
第12回	「観光案内所で」(3) 1) 「?があります」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう
第13回	「何が好き?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) どこから来たの? 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「何が好き」(2) 1) 「好き aimer」の動詞を学ぼう 2) 「私を」を学ぶ 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「何が好き?」 1) 何に興味がある? 2) 「私に」を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590031006	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E4~E6_M1~M3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E4?E6_M1?M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使い、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の <パリ ボルドー>の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パリ ボルドー」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego(自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「買い物しよう」(1) 1) いくらですか? 2) 「これは」を覚えよう 3) 「マルシェ」って何?
第2回	「買い物しよう」(2) 1) 食べ物の単語を学ぶ 2) 「持つ」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第3回	「買い物しよう」(3) 1) 否定文にしてみよう 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう
第4回	「週末に何する?」(1) 1) ボルドーへ「aller 行く」 2) フランスの町を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「週末に何する?」(2) 1) 近い未来を学ぶ 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう
第6回	「週末に何する?」(3) 1) 「何が」「何を」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く
第7回	「ホテルを探しています」(1) 1) 「出発する partir」の動詞を知ろう 2) 「私の」「君の」「彼の」「彼女の」を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「ホテルを探しています」(2) 1) 色々な挨拶を言ってみよう 2) 「私達の」「あなた達の」「彼らの」「彼女たちを」を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「ホテルを探しています」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) 道を教え下さい。 3) 方向を知る
第10回	「観光案内所で」(1) 1) 「私の方は」「あなたの方は」強勢形を知る 2) 乗り物の単語を覚えよう 3) 練習問題を解く
第11回	「観光案内所で」(2) 1) 「?したいんですが」を言ってみる 2) どこを観光したい? 3) ペアレッスン
第12回	「観光案内所で」(3) 1) 「?があります」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう
第13回	「何が好き?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) どこから来たの? 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「何が好き」(2) 1) 「好き aimer」の動詞を学ぼう 2) 「私を」を学ぶ 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「何が好き?」 1) 何に興味がある? 2) 「私に」を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590031007	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K1) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法 (学習指導法) /Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の <パリ ボルドー>の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パリ ボルドー」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「買い物しよう」(1) 1) いくらですか? 2) 「これは」を覚えよう 3) 「マルシェ」って何?
第2回	「買い物しよう」(2) 1) 食べ物の単語を学ぶ 2) 「持つ」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第3回	「買い物しよう」(3) 1) 否定文にしてみよう 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう
第4回	「週末に何する?」(1) 1) ボルドーへ「aller 行く」 2) フランスの町を知る 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「週末に何する?」(2) 1) 近い未来を学ぶ 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう
第6回	「週末に何する?」(3) 1) 「何が」「何を」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く
第7回	「ホテルを探しています」(1) 1) 「出発する partir」の動詞を知ろう 2) 「私の」「君の」「彼の」「彼女の」を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「ホテルを探しています」(2) 1) 色々な挨拶を言ってみよう 2) 「私達の」「あなた達の」「彼らの」「彼女たちを」を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「ホテルを探しています」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) 道を教え下さい。 3) 方向を知る
第10回	「観光案内所で」(1) 1) 「私の方は」「あなたの方は」強勢形を知る 2) 乗り物の単語を覚えよう 3) 練習問題を解く
第11回	「観光案内所で」(2) 1) 「?したいんですが」を言ってみる 2) どこを観光したい? 3) ペアレッスン
第12回	「観光案内所で」(3) 1) 「?があります」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう
第13回	「何が好き?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) どこから来たの? 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「何が好き」(2) 1) 「好き aimer」の動詞を学ぼう 2) 「私を」を学ぶ 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「何が好き?」 1) 何に興味がある? 2) 「私に」を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590033001	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T1~2T7) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako,		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語?・?で使用した<カフェ フランセ>を継続使用します。フランスに留学生マリの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版) 参考書:仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題10%、授業態度10%、Fr ncego(自己学習)15%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「サッカーする?」(1) 1)不規則動詞faire(する)の活用・?するのが好き 2)趣味・スポーツの単語 3)ペアレッスン		
第二回	「サッカーする?」(2) 1)朝ごはん何食べる? 2)食べ物につける「部分冠詞」を覚えよう 3)中性代名詞 en		

第三回	「サッカーする？」(3) 1) 「取る prendre」を覚える 2) oui と si の違いは何? 3) 聞き取り練習
第四回	「お昼ご飯食べる？」(1) 1) 曜日を覚えよう 2) 「行く aller」と「来る venir」を学ぶ 3) 動詞の活用を書こう
第五回	「お昼ごはん食べる？」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 単語小テスト
第六回	「お昼ご飯食べる？」(3) 1) 「いくら、いくつ combien」を使う 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン
第七回	「何時に起きる？」(1) 1) 何時ですか? 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題
第八回	「何時に起きる？」(2) 1) 日常生活を言う 2) 代名詞を入れてみよう 3) 聞き取りをする
第九回	「何時に起きる？」(3) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 長文を読んでみる 3) 1日のスケジュールをお互いに聞く 方向の言い方
第十回	「招待してくれるの？」(1) 1) この有名人はどんな人? 2) 「私を、私に」を覚える 3) チャットをしよう
第十一回	「招待してくれるの？」(2) 1) 「なぜ pourquoi、いつ quand」を使おう 2) アルバイトについて話そう 3) ペアレッスン
第十二回	「招待してくれるの？」(3) 1) 「知ってる connaitre」を覚える 2) 代名詞を使って答えよう 3) 単語小テスト
第十三回	「いただきます！」(1) 1) フランスの食事の順番は? 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする
第十四回	「いただきます！」(2) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 「~した」avoirを使った過去形を覚える 3) ペアレッスン
第十五回	「いただきます！」(3) 1) 過去分詞を覚え 2) 「?していた」半過去を使ってみよう 3) 聞き取りをする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590033002	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T8~2T10_2D1・2D2_2K1~2K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T8?T10_2D1・2D2_2K1?K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語?・?で使用した<カフェ フランセ>を継続使用します。フランスに留学生マリの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版) 参考書:仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題10%、授業態度10%、Fr ncego(自己学習)15%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「サッカーする?」(1) 1)不規則動詞faire(する)の活用・?するのが好き 2)趣味・スポーツの単語 3)ペアレッスン		
第二回	「サッカーする?」(2) 1)朝ごはん何食べる? 2)食べ物につける「部分冠詞」を覚えよう 3)中性代名詞 en		

第三回	「サッカーする？」(3) 1) 「取る prendre」を覚える 2) oui と si の違いは何？ 3) 聞き取り練習
第四回	「お昼ご飯食べる？」(1) 1) 曜日を覚えよう 2) 「行く aller」と「来る venir」を学ぶ 3) 動詞の活用を書こう
第五回	「お昼ごはん食べる？」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 単語小テスト
第六回	「お昼ご飯食べる？」(3) 1) 「いくら、いくつ combien」を使う 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン
第七回	「何時に起きる？」(1) 1) 何時ですか？ 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題
第八回	「何時に起きる？」(2) 1) 日常生活を言う 2) 代名詞を入れてみよう 3) 聞き取りをする
第九回	「何時に起きる？」(3) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 長文を読んでみる 3) 1日のスケジュールをお互いに聞く 方向の言い方
第十回	「招待してくれるの？」(1) 1) この有名人はどんな人？ 2) 「私を、私に」を覚える 3) チャットをしよう
第十一回	「招待してくれるの？」(2) 1) 「なぜ pourquoi、いつ quand」を使おう 2) アルバイトについて話そう 3) ペアレッスン
第十二回	「招待してくれるの？」(3) 1) 「知ってる connaitre」を覚える 2) 代名詞を使って答えよう 3) 単語小テスト
第十三回	「いただきます！」(1) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする
第十四回	「いただきます！」(2) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 「~した」avoirを使った過去形を覚える 3) ペアレッスン
第十五回	「いただきます！」(3) 1) 過去分詞を覚え 2) 「?していた」半過去を使ってみよう 3) 聞き取りをする
第十六回	定期試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590033003	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2M1~2M3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M1?2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語?・?で使用した<カフェ フランセ>を継続使用します。フランスに留学生マリの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版) 参考書:仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題10%、授業態度10%、Fr ncego(自己学習)15%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「サッカーする?」(1) 1)不規則動詞faire(する)の活用・?するのが好き 2)趣味・スポーツの単語 3)ペアレッスン		
第二回	「サッカーする?」(2) 1)朝ごはん何食べる? 2)食べ物につける「部分冠詞」を覚えよう 3)中性代名詞 en		

第三回	「サッカーする？」(3) 1) 「取る prendre」を覚える 2) oui と si の違いは何? 3) 聞き取り練習
第四回	「お昼ご飯食べる？」(1) 1) 曜日を覚えよう 2) 「行く aller」と「来る venir」を学ぶ 3) 動詞の活用を書こう
第五回	「お昼ごはん食べる？」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 単語小テスト
第六回	「お昼ご飯食べる？」(3) 1) 「いくら、いくつ combien」を使う 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン
第七回	「何時に起きる？」(1) 1) 何時ですか? 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題
第八回	「何時に起きる？」(2) 1) 日常生活を言う 2) 代名詞を入れてみよう 3) 聞き取りをする
第九回	「何時に起きる？」(3) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 長文を読んでみる 3) 1日のスケジュールをお互いに聞く 方向の言い方
第十回	「招待してくれるの？」(1) 1) この有名人はどんな人? 2) 「私を、私に」を覚える 3) チャットをしよう
第十一回	「招待してくれるの？」(2) 1) 「なぜ pourquoi、いつ quand」を使おう 2) アルバイトについて話そう 3) ペアレッスン
第十二回	「招待してくれるの？」(3) 1) 「知ってる connaitre」を覚える 2) 代名詞を使って答えよう 3) 単語小テスト
第十三回	「いただきます！」(1) 1) フランスの食事の順番は? 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする
第十四回	「いただきます！」(2) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 「~した」avoirを使った過去形を覚える 3) ペアレッスン
第十五回	「いただきます！」(3) 1) 過去分詞を覚え 2) 「?していた」半過去を使ってみよう 3) 聞き取りをする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590033004	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2G1~2G3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G1?2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語?・?で使用した<カフェ フランセ>を継続使用します。フランスに留学生マリの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版) 参考書:仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題10%、授業態度10%、Fr ncego(自己学習)15%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「サッカーする?」(1) 1)不規則動詞faire(する)の活用・?するのが好き 2)趣味・スポーツの単語 3)ペアレッスン		
第二回	「サッカーする?」(2) 1)朝ごはん何食べる? 2)食べ物につける「部分冠詞」を覚えよう 3)中性代名詞 en		

第三回	「サッカーする？」(3) 1) 「取る prendre」を覚える 2) oui と si の違いは何? 3) 聞き取り練習
第四回	「お昼ご飯食べる？」(1) 1) 曜日を覚えよう 2) 「行く aller」と「来る venir」を学ぶ 3) 動詞の活用を書こう
第五回	「お昼ごはん食べる？」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 単語小テスト
第六回	「お昼ご飯食べる？」(3) 1) 「いくら、いくつ combien」を使う 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン
第七回	「何時に起きる？」(1) 1) 何時ですか? 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題
第八回	「何時に起きる？」(2) 1) 日常生活を言う 2) 代名詞を入れてみよう 3) 聞き取りをする
第九回	「何時に起きる？」(3) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 長文を読んでみる 3) 1日のスケジュールをお互いに聞く 方向の言い方
第十回	「招待してくれるの？」(1) 1) この有名人はどんな人? 2) 「私を、私に」を覚える 3) チャットをしよう
第十一回	「招待してくれるの？」(2) 1) 「なぜ pourquoi、いつ quand」を使おう 2) アルバイトについて話そう 3) ペアレッスン
第十二回	「招待してくれるの？」(3) 1) 「知ってる connaitre」を覚える 2) 代名詞を使って答えよう 3) 単語小テスト
第十三回	「いただきます！」(1) 1) フランスの食事の順番は? 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする
第十四回	「いただきます！」(2) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 「~した」avoirを使った過去形を覚える 3) ペアレッスン
第十五回	「いただきます！」(3) 1) 過去分詞を覚え 2) 「?していた」半過去を使ってみよう 3) 聞き取りをする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590033005	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako,		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語?・?で使用した<カフェ フランセ>を継続使用します。フランスに留学生マリの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標 / Goal	(1) 重要基本動詞の現在形活用を覚える (2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えます。		
授業内容 / Class outline / Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」 (朝日出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題10%、授業態度10%、Fr ncego (自己学習) 15%を総合的に判断します。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「サッカーする?」 (1) 1) 不規則動詞faire(する)の活用・?するのが好き 2) 趣味・スポーツの単語 3) ペアレッスン		
第二回	「サッカーする?」 (2) 1) 朝ごはん何食べる? 2) 食べ物につける「部分冠詞」を覚えよう 3) 中性代名詞 en		

第三回	「サッカーする？」(3) 1) 「取る prendre」を覚える 2) oui と si の違いは何? 3) 聞き取り練習
第四回	「お昼ご飯食べる？」(1) 1) 曜日を覚えよう 2) 「行く aller」と「来る venir」を学ぶ 3) 動詞の活用を書こう
第五回	「お昼ごはん食べる？」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 単語小テスト
第六回	「お昼ご飯食べる？」(3) 1) 「いくら、いくつ combien」を使う 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン
第七回	「何時に起きる？」(1) 1) 何時ですか? 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題
第八回	「何時に起きる？」(2) 1) 日常生活を言う 2) 代名詞を入れてみよう 3) 聞き取りをする
第九回	「何時に起きる？」(3) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 長文を読んでみる 3) 1日のスケジュールをお互いに聞く 方向の言い方
第十回	「招待してくれるの？」(1) 1) この有名人はどんな人? 2) 「私を、私に」を覚える 3) チャットをしよう
第十一回	「招待してくれるの？」(2) 1) 「なぜ pourquoi、いつ quand」を使おう 2) アルバイトについて話そう 3) ペアレッスン
第十二回	「招待してくれるの？」(3) 1) 「知ってる connaitre」を覚える 2) 代名詞を使って答えよう 3) 単語小テスト
第十三回	「いただきます！」(1) 1) フランスの食事の順番は? 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする
第十四回	「いただきます！」(2) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 「~した」avoirを使った過去形を覚える 3) ペアレッスン
第十五回	「いただきます！」(3) 1) 過去分詞を覚え 2) 「?していた」半過去を使ってみよう 3) 聞き取りをする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590033006	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2E1~2E6) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako,		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語?・?で使用した<カフェ フランセ>を継続使用します。フランスに留学生マリの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版) 参考書:仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題10%、授業態度10%、Fr ncego(自己学習)15%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「サッカーする?」(1) 1)不規則動詞faire(する)の活用・?するのが好き 2)趣味・スポーツの単語 3)ペアレッスン		
第二回	「サッカーする?」(2) 1)朝ごはん何食べる? 2)食べ物につける「部分冠詞」を覚えよう 3)中性代名詞 en		

第三回	「サッカーする？」(3) 1) 「取る prendre」を覚える 2) oui と si の違いは何? 3) 聞き取り練習
第四回	「お昼ご飯食べる？」(1) 1) 曜日を覚えよう 2) 「行く aller」と「来る venir」を学ぶ 3) 動詞の活用を書こう
第五回	「お昼ごはん食べる？」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 単語小テスト
第六回	「お昼ご飯食べる？」(3) 1) 「いくら、いくつ combien」を使う 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン
第七回	「何時に起きる？」(1) 1) 何時ですか? 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題
第八回	「何時に起きる？」(2) 1) 日常生活を言う 2) 代名詞を入れてみよう 3) 聞き取りをする
第九回	「何時に起きる？」(3) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 長文を読んでみる 3) 1日のスケジュールをお互いに聞く 方向の言い方
第十回	「招待してくれるの？」(1) 1) この有名人はどんな人? 2) 「私を、私に」を覚える 3) チャットをしよう
第十一回	「招待してくれるの？」(2) 1) 「なぜ pourquoi、いつ quand」を使おう 2) アルバイトについて話そう 3) ペアレッスン
第十二回	「招待してくれるの？」(3) 1) 「知ってる connaitre」を覚える 2) 代名詞を使って答えよう 3) 単語小テスト
第十三回	「いただきます！」(1) 1) フランスの食事の順番は? 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする
第十四回	「いただきます！」(2) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 「~した」avoirを使った過去形を覚える 3) ペアレッスン
第十五回	「いただきます！」(3) 1) 過去分詞を覚え 2) 「?していた」半過去を使ってみよう 3) 聞き取りをする
第十六回	定期試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590035001	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T1~2T7) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako,		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	教科書は<Cafe francais>を引き続き使用します。教科書が終了したら、9月の語学研修の大学があるブルゴーニュ地方を舞台とした「パリ ブルゴーニュ」の教科書を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標 / Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えらるるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容 / Class outline / Con	授業計画を参照してください。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」 (朝日出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「昨日何した?」 (1) 1) 「?した」を言ってみる。 2) etre を使った複合過去 3) 練習問題をする		
第二回	「昨日何した?」 (2) 1) 月を覚える 2) 季節のフランスの行事を知ろう 3) ペアレッスン		

第三回	「昨日何した？」(3) 1) 過去分詞を一致させよう 2) バカンスに何をやる？ 3) 「私達 on」を使ってみる
第四回	「寂しくなるね」(1) 1) 命令形を覚えてみよう 2) どのくらい行きますか？ 3) ペアレッシン
第五回	「寂しくなるね」(2) 1) 日記をつけてみよう 2) 近い未来を言ってみよう 3) 形容詞の位置を知ろう
第六回	「寂しくなるね」(3) 1) メールを書いてみよう 2) 近い過去を言ってみよう 3) ペアレッシン
第七回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 接続法を知る 2) 接続法をとる動詞は何？ 3) ペアレッシンをする
第八回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) レストランで何食べる？ 2) レストランでの会話を読む 3) 会話の内容に答えよう
第九回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 「?みただ」を言ってみる 2) 聞き取りをする 3) 接続法の動詞小テスト
第十回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 現在分詞を作ってみよう 2) シャドウイングをしよう 3) 単語小テスト
第十一回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) ジェロンディフを学ぼう 2) ワインの試飲の会話を読もう 3) フランス語の質問に答えよう
第十二回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 同等の比較を覚えよう 2) 練習問題をする 3) ペアレッシン
第十三回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 副詞を学ぼう 2) 副詞を作ろう 3) 聞き取りをする
第十四回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) 文章を読む 2) 練習問題を解く 3) ペアレッシン
第十五回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 時と場所の副詞を学ぶ 2) 質問にフランス語で答えよう 3) 全体の復習をする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590035002	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T8 ~ 2T10_2D1・2D2_2K1 ~ 2K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室 / Room 22		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Cafe francais>を引き続き使用します。教科書が終了したら、9月の語学研修の大学があるブルゴーニュ地方を舞台とした「パリ ブルゴーニュ」の教科書を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えられるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」(朝日出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「昨日何した?」(1) 1) 「?した」を言ってみる。 2) etre を使った複合過去 3) 練習問題をする		
第二回	「昨日何した?」(2) 1) 月を覚える 2) 季節のフランスの行事を知ろう 3) ペアレッスン		

第三回	「昨日何した？」(3) 1) 過去分詞を一致させよう 2) バカンスに何をやる？ 3) 「私達 on」を使ってみる
第四回	「寂しくなるね」(1) 1) 命令形を覚えてみよう 2) どのくらい行きますか？ 3) ペアレッシン
第五回	「寂しくなるね」(2) 1) 日記をつけてみよう 2) 近い未来を言ってみよう 3) 形容詞の位置を知ろう
第六回	「寂しくなるね」(3) 1) メールを書いてみよう 2) 近い過去を言ってみよう 3) ペアレッシン
第七回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 接続法を知る 2) 接続法をとる動詞は何？ 3) ペアレッシンをする
第八回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) レストランで何食べる？ 2) レストランでの会話を読む 3) 会話の内容に答えよう
第九回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 「?みただ」を言ってみる 2) 聞き取りをする 3) 接続法の動詞小テスト
第十回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 現在分詞を作ってみよう 2) シャドーウイングをしよう 3) 単語小テスト
第十一回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) ジェロンディフを学ぼう 2) ワインの試飲の会話を読もう 3) フランス語の質問に答えよう
第十二回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 同等の比較を覚えよう 2) 練習問題をする 3) ペアレッシン
第十三回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 副詞を学ぼう 2) 副詞を作ろう 3) 聞き取りをする
第十四回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) 文章を読む 2) 練習問題を解く 3) ペアレッシン
第十五回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 時と場所の副詞を学ぶ 2) 質問にフランス語で答えよう 3) 全体の復習をする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590035003	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2M1~2M3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M1?2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Cafe francais>を引き続き使用します。教科書が終了したら、9月の語学研修の大学があるブルゴーニュ地方を舞台とした「パリ ブルゴーニュ」の教科書を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えらるるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」(朝日出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「昨日何した?」(1) 1) 「?した」を言ってみる。 2) etre を使った複合過去 3) 練習問題をする		
第二回	「昨日何した?」(2) 1) 月を覚える 2) 季節のフランスの行事を知ろう 3) ペアレッスン		

第三回	「昨日何した？」(3) 1) 過去分詞を一致させよう 2) バカンスに何をやる？ 3) 「私達 on」を使ってみる
第四回	「寂しくなるね」(1) 1) 命令形を覚えてみよう 2) どのくらい行きますか？ 3) ペアレッシン
第五回	「寂しくなるね」(2) 1) 日記をつけてみよう 2) 近い未来を言ってみよう 3) 形容詞の位置を知ろう
第六回	「寂しくなるね」(3) 1) メールを書いてみよう 2) 近い過去を言ってみよう 3) ペアレッシン
第七回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 接続法を知る 2) 接続法をとる動詞は何？ 3) ペアレッシンをする
第八回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) レストランで何食べる？ 2) レストランでの会話を読む 3) 会話の内容に答えよう
第九回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 「?みただ」を言ってみる 2) 聞き取りをする 3) 接続法の動詞小テスト
第十回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 現在分詞を作ってみよう 2) シャドウイングをしよう 3) 単語小テスト
第十一回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) ジェロンディフを学ぼう 2) ワインの試飲の会話を読もう 3) フランス語の質問に答えよう
第十二回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 同等の比較を覚えよう 2) 練習問題をする 3) ペアレッシン
第十三回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 副詞を学ぼう 2) 副詞を作ろう 3) 聞き取りをする
第十四回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) 文章を読む 2) 練習問題を解く 3) ペアレッシン
第十五回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 時と場所の副詞を学ぶ 2) 質問にフランス語で答えよう 3) 全体の復習をする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590035004	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2G1 ~ 2G3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2G1?2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Cafe francais>を引き続き使用します。教科書が終了したら、9月の語学研修の大学があるブルゴーニュ地方を舞台とした「パリ ブルゴーニュ」の教科書を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えらるるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」 (朝日出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「昨日何した?」(1) 1) 「?した」を言ってみる。 2) etre を使った複合過去 3) 練習問題をする		
第二回	「昨日何した?」(2) 1) 月を覚える 2) 季節のフランスの行事を知ろう 3) ペアレッスン		

第三回	「昨日何した？」(3) 1) 過去分詞を一致させよう 2) バカンスに何をやる？ 3) 「私達 on」を使ってみる
第四回	「寂しくなるね」(1) 1) 命令形を覚えてみよう 2) どのくらい行きますか？ 3) ペアレッシン
第五回	「寂しくなるね」(2) 1) 日記をつけてみよう 2) 近い未来を言ってみよう 3) 形容詞の位置を知ろう
第六回	「寂しくなるね」(3) 1) メールを書いてみよう 2) 近い過去を言ってみよう 3) ペアレッシン
第七回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 接続法を知る 2) 接続法をとる動詞は何？ 3) ペアレッシンをする
第八回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) レストランで何食べる？ 2) レストランでの会話を読む 3) 会話の内容に答えよう
第九回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 「?みただ」を言ってみる 2) 聞き取りをする 3) 接続法の動詞小テスト
第十回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 現在分詞を作ってみよう 2) シャドウイングをしよう 3) 単語小テスト
第十一回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) ジェロンディフを学ぼう 2) ワインの試飲の会話を読もう 3) フランス語の質問に答えよう
第十二回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 同等の比較を覚えよう 2) 練習問題をする 3) ペアレッシン
第十三回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 副詞を学ぼう 2) 副詞を作ろう 3) 聞き取りをする
第十四回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) 文章を読む 2) 練習問題を解く 3) ペアレッシン
第十五回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 時と場所の副詞を学ぶ 2) 質問にフランス語で答えよう 3) 全体の復習をする
第十六回	定期試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590035005	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Cafe francais>を引き続き使用します。教科書が終了したら、9月の語学研修の大学があるブルゴーニュ地方を舞台とした「パリ ブルゴーニュ」の教科書を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えられるようにする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」 (朝日出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「昨日何した?」(1) 1) 「?した」を言ってみる。 2) etre を使った複合過去 3) 練習問題をする		
第二回	「昨日何した?」(2) 1) 月を覚える 2) 季節のフランスの行事を知ろう 3) ペアレッスン		

第三回	「昨日何した？」(3) 1) 過去分詞を一致させよう 2) バカンスに何をやる？ 3) 「私達 on」を使ってみる
第四回	「寂しくなるね」(1) 1) 命令形を覚えてみよう 2) どのくらい行きますか？ 3) ペアレッシン
第五回	「寂しくなるね」(2) 1) 日記をつけてみよう 2) 近い未来を言ってみよう 3) 形容詞の位置を知ろう
第六回	「寂しくなるね」(3) 1) メールを書いてみよう 2) 近い過去を言ってみよう 3) ペアレッシン
第七回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 接続法を知る 2) 接続法をとる動詞は何？ 3) ペアレッシンをする
第八回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) レストランで何食べる？ 2) レストランでの会話を読む 3) 会話の内容に答えよう
第九回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 「?みただ」を言ってみる 2) 聞き取りをする 3) 接続法の動詞小テスト
第十回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 現在分詞を作ってみよう 2) シャドウイングをしよう 3) 単語小テスト
第十一回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) ジェロンディフを学ぼう 2) ワインの試飲の会話を読もう 3) フランス語の質問に答えよう
第十二回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 同等の比較を覚えよう 2) 練習問題をする 3) ペアレッシン
第十三回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 副詞を学ぼう 2) 副詞を作ろう 3) 聞き取りをする
第十四回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) 文章を読む 2) 練習問題を解く 3) ペアレッシン
第十五回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 時と場所の副詞を学ぶ 2) 質問にフランス語で答えよう 3) 全体の復習をする
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590035006	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2E1~2E6) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	souslepont03@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	教科書は<Cafe francais>を引き続き使用します。教科書が終了したら、9月の語学研修の大学があるブルゴーニュ地方を舞台とした「パリ ブルゴーニュ」の教科書を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標 / Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えられるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容 / Class outline / Con	授業計画を参照してください。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」 (朝日出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「昨日何した?」 (1) 1) 「?した」を言ってみる。 2) etre を使った複合過去 3) 練習問題をする		
第二回	「昨日何した?」 (2) 1) 月を覚える 2) 季節のフランスの行事を知ろう 3) ペアレッスン		

第三回	「昨日何した？」(3) 1) 過去分詞を一致させよう 2) バカンスに何をやる？ 3) 「私達 on」を使ってみる
第四回	「寂しくなるね」(1) 1) 命令形を覚えてみよう 2) どのくらい行きますか？ 3) ペアレッシン
第五回	「寂しくなるね」(2) 1) 日記をつけてみよう 2) 近い未来を言ってみよう 3) 形容詞の位置を知ろう
第六回	「寂しくなるね」(3) 1) メールを書いてみよう 2) 近い過去を言ってみよう 3) ペアレッシン
第七回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 接続法を知る 2) 接続法をとる動詞は何？ 3) ペアレッシンをする
第八回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) レストランで何食べる？ 2) レストランでの会話を読む 3) 会話の内容に答えよう
第九回	「ブルゴーニュの郷土料理は何？」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 「?みただ」を言ってみる 2) 聞き取りをする 3) 接続法の動詞小テスト
第十回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 現在分詞を作ってみよう 2) シャドウイングをしよう 3) 単語小テスト
第十一回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) ジェロンディフを学ぼう 2) ワインの試飲の会話を読もう 3) フランス語の質問に答えよう
第十二回	「ワインを試飲する」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 同等の比較を覚えよう 2) 練習問題をする 3) ペアレッシン
第十三回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(1) 1) 副詞を学ぼう 2) 副詞を作ろう 3) 聞き取りをする
第十四回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(2) 1) 文章を読む 2) 練習問題を解く 3) ペアレッシン
第十五回	「ブドウ畑を訪れる」(『パリ ブルゴーニュ』から)(3) 1) 時と場所の副詞を学ぶ 2) 質問にフランス語で答えよう 3) 全体の復習をする
第十六回	定期試験